

③ 社団法人設立から設立20周年まで 昭和44～51年度

年度	総会・研修会等	その他の動き
1969(昭44)	<ul style="list-style-type: none"> ●第14回総会、旧協会解散及び社団法人設立総会（7月23日） ・社団法人「埼玉県医療社会事業協会」設立 設立趣意書、定款承認 ※旧協会の志向を引き継ぎ「事業」協会とし、会員資格についても 従事者、賛同者、施設長となっている ・役員等決定 会長 丸木清美氏 副会長 中村友輔氏、山口正文氏 理事 12名、監事 2名、事務局を県予防課内におく ・記念講演 「現在の社会福祉の動向と医療社会事業」 講師 重田信一氏(明治学院大学教授) 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県箱根町において日本協会全国大会開催（5月） ※「医療社会事業における業務の明確化とその確立」のテーマに沿い、埼玉県保健所 有志による現状調査発表 ・協会運営要領作成（10月）
1970(昭45)	<ul style="list-style-type: none"> ●施設見学、研修会（4月） ・国立久里浜病院(現・久里浜医療センター)見学 ・研修会 「アルコール中毒について」 ●総会及び研修会（8月） ・研修会 講演「メディカルチームの一員としてのMSWのあり方」 講師 吉田ますみ氏(聖路加国際病院 医療社会事業部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市において日本協会全国大会開催（5月） ※日本協会総会は出席定数を満たさず、本 年度事業については、各県協会に持ち帰り 書面審議となる
1971(昭46)	<ul style="list-style-type: none"> ●総会及び研修会（7月） ・役員改選 副会長 荻野淑郎氏、事務局 高橋暉良氏 ・研修会、講演及び討議 「老人問題とケースワーカー」 講師 伊沢氏(厚生省社会局老人福祉課 技官) ●研修会（2月） ・出席者 25名 ・内容「埼玉県における医療社会事業の現状と今後の課題」 問題提起 平山雅康氏(県立小原療養所)※現 県立循環器・呼吸器病センター 助言者 小松源助(日本社会事業大学教授) ●「MSWさいたま」法人化記念号発行（11月） ●会員名簿配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本協会総会が再び流会となる（5月） ・中央社会福祉審議 職員問題専門分科 起 草委員会「社会福祉士法」制定試案を公 表。日本協会より会員に案分送付され、検 討の要請あり
1972(昭47)	<ul style="list-style-type: none"> ●施設見学（4月） ・国立コロニー「のぞみの園」(群馬県高崎市)見学 ※現 国立重度知的障害者総合施設「のぞみの園」 ●第17回総会（9月） ・出席者 71名(内 委任 41名) ●施設見学（9月） ・肢体不自由児施設「埼玉療育園」(寄居町)見学 ※現 障害児入所施設・療養介護施設「埼玉療育園」 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会にて組織検討 ・日本に寮社会事業協会臨時総会（2月） ・県主管係が「保健予防課県民健康係」に 移る（4月）

- 研修会・討議（3月）
 - ・テーマ『福祉士法案』をめぐって、「全国総会と今後の協会の在り方」
- 施設見学（3月）
 - ・「浦和市立病院」 ※現 さいたま市立病院

1973(昭48)

- 第18回総会（6月）
 - ・会員 108名
 - ・役員改選
 - 会長 丸木清美氏
 - 副会長 田島剛氏
 - 事務局 小池氏（保険予防課県民健康係長）
 - ・研修会
 - 講演 「医療社会事業の課題」
 - 講師 児島美都子氏（日本福祉大学、日本協会会長）
- 研修会 講演と討議（11月）
 - ① 講演 「身体障害者福祉をめぐって」
 - 講師 三和治氏（明治学院大学）
 - ② 講演 「県内の身体障害者社会復帰対策の現況」
 - 講師 五十嵐一雅氏（浦和市福祉事務所）
- 研修会 事例研究（2月）
 - ・テーマ 「身体障害を持つ結核患者の入院から退院まで」
 - 事例提供者 勝連盛伸氏（国立埼玉療養所） ※現 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
 - 助言者 丸下静香氏（国立療養所村山病院） ※現 独立行政法人国立病院機構村山医療センター
 - 加藤正隆氏（県身体障害者更生相談所）

- ・日本協会理事に平山雅康氏、山岸純子氏を推薦する
- ・会員名簿の発行
- ・県内の医療及び精神医学ソーシャルワーカーの現状について調査計画、対象は県内の全病院及び協会会員所属機関(290か所)
- ・日本協会より皆川理事来会、活動報告
- ・日本協会の資格制度、組織検討、25年誌編集各委員会に対し協力委員を選出する

1974(昭49)

- 施設見学（4月）
 - ・「東京都立養育院附属病院」（東京都板橋区）
 - ※現 東京都健康長寿医療センター
- 総会（5月）
 - ・出席者 75名
 - ・基本方針「協会の強化」を採択
 - ・部活動の展開、関係機関との連携強化、ブロック制の現状を検討
 - ・会費を年会費1・2号会員とも1,000円に改定
- 研修会、見学会（2月）
 - ① 講演 「リハビリテーションとパラメディカルスタッフの活動について」
 - 講師 大島良雄氏（埼玉医科大学附属病院長）
 - ② 見学会
 - ・埼玉医科大学附属病院
 - ・重度心身障害児施設「光の家」（現 医療型障がい児入所施設・療養介護施設「光の家療育センター」）
 - ・特別養護老人ホーム「悠久園」

- ・ブロック研修会について、東部ブロックの会員数減少のため、南部と合同で実施する
- また、運営費節減のため、西北部ブロックも合同で実施する

1975(昭50)

- 総会（5月）
 - ・出席者 54名
 - ・昭和49年基本方針検討、加えて教育研修を強化する
 - ・役員改選
 - 会長 丸木清美氏
 - 副会長 田島剛氏
 - 副会長 五十嵐氏（県保健予防課長）

●施設見学、研究会（9月）

- ・「神奈川県総合リハビリテーションセンター」見学
- ・テーマ「身体障害者リハビリテーションとMSW」
- 助言者 渡辺はつ子氏（上記センター相談指導課長）

●研修会（2月）

- ・参加者 30名
- ① 講演「MSWとはどんな仕事か～その基本姿勢について～」
講師 柏木昭氏（国立精神衛生研究所）※現 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
- ② テーマ「日常業務の検討」
発表者 勝連氏（国立埼玉療養所）、細川氏（戸田中央病院）、
安藤氏（小川赤十字病院）、小早川氏（さいわい診療所）
- 助言者 柏木昭氏（国立精神衛生研究所）

1976(昭51)

●総会（5月）

- ・出席者 56名
- ・現状検討、協会財政の整理縮小
- ・MSWの普及活動強化、専任ワーカー設置促進、新人研修、
資料紹介、地区活動の強化、専門部（資格制度、協会組織）検討

・全国大会（東京・中野）運営に協力委員6名を派遣する（5月）

・田島剛氏、公衆衛生功労表彰（2月）

●研究会（5月）

- 講演「埼玉県の福祉を考える」
- 講師 大原光憲氏（中央大学教授）

●研究会、見学会（10月）

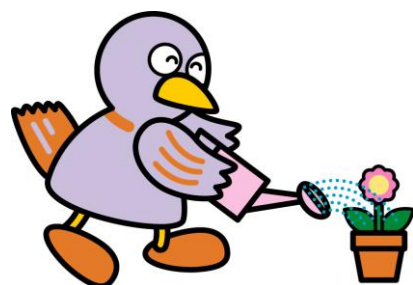
- ① 講演「がん治療の現状と問題点」
講師 吉田清一氏（県立がんセンター院長）
- ② 「県立がんセンター」見学

●県精神衛生センター研究会に参加

- 講演「埼玉県における精神衛生の現状と展望」
- 講師 佐々木雄司氏（上記センター所長）

●研修会、討議（3月）

- テーマ「患者はどんな援助をMSWに期待するか」
- 発表者 笠原氏（心臓病を守る会）
近藤氏（腎臓病患者の会）
- 助言者 渡辺はつ子氏（上記センター相談指導課長）



コバトン